

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	認可年月日	校長名	所在地						
福岡ベルエポック美容専門学校	平成16年3月25日	田中 浩一	〒 812-0033 (住所) 福岡県福岡市大博町4-17 (電話) 092-282-9100						
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地						
学校法人滋慶学園	昭和58年12月23日	浮舟 邦彦	〒 134-0084 (住所) 東京都江戸川区東葛西8-16-2 (電話) 03-5678-3311						
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士					
文化・教養	文化・教養専門課程	ブライダルコーディネーター科(ブライダルヘアメイク科)	令和3年文部科学省認定	-					
学科の目的	ブライダルヘアメイクとして人間力と現場力で創造する力を持ち、顧客ニーズに対応できる発信力のある人材になる								
認定年月日	平成30年12月10日(名称変更:令和3年4月29日)								
修業年限	昼夜	全課程の単位に占める 報酬単位数又は単位数	講義	演習	実習	実験			
2	年	1710	0	1710	0	0			
生徒総定員	生徒実員	留学生数(在籍実員内)	専任教員数	兼任教員数	経教員数				
80人	33人	0人	3人	13人	16人				
学期制度	■前期:4月第2週～9月第5週 ■後期:10月第1週～3月第5週			成績評価	■成績表:有 ■成績評価の基準・方法 評価の基準:				
長期休み	■学年始:4月1日～4月第1週 ■夏 季:7月第5週～8月第4週 ■冬 季:12月第4週～1月第1週 ■学年末:3月第3週～3月第5週			卒業・進級 条件	卒業要件:				
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 個別相談・指導等の対応、長期欠席者への指導等の対応 保護者を含めた面談による指導			課外活動	■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 学生スタッフ活動(オープンキャンパスでの来校者対応で接客力を学ぶ)、学園祭および体育祭実行委員、業界と連携した サークル活動: 有				
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和3年度卒業生) 美容室、ブライダルサロン、ドレスショップ、結婚式場 ■就職指導内容 求人案内、履歴書作成支援、就職模擬面接、学内企業説明会の実施 ■卒業者数 12 人 ■就職希望者数 11 人 ■就職者数 11 人 ■就職率 91.7 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 91.7 % ■その他 ・卒業のみ希望 1人 (令和 3 年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報)			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報) 資格・検定名 種別 受験者数 合格者数 (国家検定)ブライダルコーディネート技能検定 ③ 12人 7人				
中途退学の状況	■中途退学者 1 名 ■中退率 4 % 令和3年4月1日時点において、在学者 26 名(令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者 25 名(令和4年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更(他分野への就職意識が変化したため) ■中途退防止・中退者支援のための取組 担任・学科長・スクールカウンセラーによるカウンセリング 中退者支援: グループ姉妹校への再入学、自校内学科への転科の実施			※種別欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他の民間検定等					
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 希望者に対する特待生試験を実施し、採用者には授業料の一部を減免している。(家庭の経済状況は考慮していない) ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載 0			■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等 学生スタッフ活動(オープンキャンパスでの来校者対応で接客力を学ぶ)、学園祭および体育祭実行委員、業界と連携した企業プロジェクト等					
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体: 0 受審年月: 0 評価結果を掲載したホームページURL: 0								
当該学科のホームページURL	https://www.fbe.ac.jp/								

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください。

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

(1)「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者数で除したものをいいます。

(2)「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

(3)「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聽講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、看護学科、歯医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

(1)「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

(2)「就職」とは給料、賞金、報酬その他経済的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者としません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(派遣分野)」は、「学校基本調査」における「派遣分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの。②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの。③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

教育課程編成委員会において業界ニーズを把握した上で、卒業後3年後の到達目標(養成目的)と卒業時における到達目標(教育目標)を設定し、カリキュラム編成を行っている。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

本校の教育課程編成委員会は、学校関係者評価委員会による評価内容を基に教育内容、教育方法の客観的評価と改善提案を行う。この改善提案は企業連携のもと、実践的かつ専門的な観点から業界から求められる教育について検討する。本委員会にて提案・助言があった事項については、教務部長が中心となり、本校FDC、当該学科職員と共にカリキュラムの構築や教育内容の改善・工夫を行う。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
首藤 浩規	【公益社団法人日本ブライダル文化振興協会】 株式会社日航ホテル福岡	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	①
坂田朋子	株式会社遠藤波津子美容室	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	③
田中 浩一	福岡ベルエポック美容専門学校 学校長	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	—
佐藤 誠	福岡ベルエポック美容専門学校 事務局長	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	—
望月 健司	福岡ベルエポック美容専門学校 教務部長	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	—
柴田 薫	福岡ベルエポック美容専門学校 学科長	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	—
水谷 将也	福岡ベルエポック美容専門学校 ヘアメイク・デューティ学部リーダー	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	—
川畠 誠	福岡ベルエポック美容専門学校 キヤリアセンター長	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、

地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (5月、10月)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年5月20日 10:00～12:00

第2回 令和4年10月24日 10:00～12:00

)

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

専門教育に関しては授業カリキュラムから产学連携での実習までの中学生の成長を促進していく為の取り組み方や手法を助言を頂戴した。また、今後の入学してくる学生の傾向を分析、共有をして頂き、教育・広報に対して短期的視点の対策から中長期的視点の対策までの計画をたてた。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

建学の理念にも掲げている実学教育の実現のため、即応力を身に付けるために企業と連携をして教育提携を結び、実践的な技術教授のための授業内容を構築する。また業界外部講師を招聘し、業界ニーズに応えられる実践的な技術・知識を学生に提供することを基本方針とする。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

プライダル業界の実務者と実習ならびに演習授業における教育目標、授業実施方針、評価の基準点などを事前に打合せを実施し授業の質の均一化を図る。また美容関係業界の実務者による実習指導の実施を通じて卒後即戦力となる技術の享受を行う。さらに定期的に科目連絡会を実施することで指導内容を精査し産学協同の質の高い授業を展開する。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
プライダルヘア	実際のお客様接客を意識し、ヘアセットの考え方、組み立て方、似合わせ方。丁寧に扱うことを学ぶ。	株式会社クオーターズ
キャリア開発	結婚式場での音響・照明を学ぶ。	株式会社SLI
着付け	着物の専門知識、技術、立ち振る舞いなど基礎から習得する。伝統文化である着物の重要性と着付けを価値を学習し、技術力の向上を目指す。	有限会社TBA

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

学園の定める教員研修規定において、教員の授業内容・教育技法の改善ならびにクラス運営方法の向上、マネジメント能力を含む指導力の向上を研修の基本方針とする。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名： JESC認定メイクアップ検定インストラクター研修 連携企業等：(株)スーパーモード

期間： 44371 対象： 検定認定講師

内容 検定の合格を目指す受験生を指導できるスキルを認定する唯一の資格を取得するための研修。取得後は専門スクールの講師や企業内での研修、教室・セミナーの開講など、さまざまな場所でコスメや美容の教育に協会認定インストラクターとして携わることができるようになる。

研修名： コロナ禍における業界と学校と連携勉強会 連携企業等：北九州ブライダル協会

期間： 令和3年11月～令和4年2月(3回) 対象： 佐藤 誠(事務部長)

内容 コロナ禍におけるブライダル業界の変化(お客様の気持ち変化、施設の対応、業界を目指す学生の気持ちと学びの内容)を業界と学校が一緒に学び、業界の活性化になるためのセミナー。

研修名： 0 連携企業等：0

期間： 0 対象： 0

内容 0

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名： FDミクロレベル・クラスマネジメン 連携企業等：滋慶教育科学研究所

期間： 令和3年7月6日(木) 対象： 波多江 薫

内容 ①FDミクロレベル研修の目的およびプログラム内容を理解しスタッフの成長を促すことができる。
②「学修成果」を用いた授業改善のために「評価」について改善ができる。

研修名： 教職員カウンセリング研修2次 連携企業等：滋慶教育科学研究所

期間： 令和3年9月～10月(オンライン受講) 対象： 教職員(2～3年目)

内容 1次研修受講者(試験合格者)全教職員がカウンセリングマインドの向上のための研修。
学生や保護者に対応できるようにスキル向上を目指し資格を取得する。

研修名： 0 連携企業等：0

期間： 0 対象： 0

内容 0

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	理容師美容師養成施設教員資格認定研修会(まつエク)	連携企業等:	日本理容美容教育センター
期間:	令和4年9月27日～30日	対象:	石崎 由理絵
内容	美容師養成施設施行細則に定められている美容師の教員養成のための研修。研修では認定試験があり合格することで研修終了となる。研修終了後は「まつエク」の授業講師として従事することができる。		
研修名:	JESC認定メイクアップ検定インストラクター研修	連携企業等:	(株)スーパー モード
期間:	44705	対象:	検定認定講師
内容	検定の合格を目指す受験生を指導できるスキルを認定する唯一の資格を取得するための研修。取得後は専門スクールの講師や企業内での研修、教室・セミナーの開講など、さまざまな場所でコスメや美容の教育に協会認定インストラクターとして携わることができるようになる。		
研修名:	0	連携企業等:	0
期間:	0	対象:	0
内容	0		
②指導力の修得・向上のための研修等			
研修名:	教職員カウンセリング研修1次	連携企業等:	滋慶教育科学研究所
期間:	44855	対象:	新入教職員
内容	全教職員がカウンセリングマインドを身につけて、学生や保護者に対応できるようにスキル向上を目指し資格を取得する。		
研修名:	進路アドバイザー研修	連携企業等:	滋慶教育科学研究所
期間:	令和4年年8月26日	対象:	学科長
内容	進路変更のコンサルティングスキルを修得し、実務内容を理解する。		
研修名:	0	連携企業等:	0
期間:	0	対象:	0
内容	0		

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

自己点検・自己評価に基き、学校関係者評価委員会を実施する。本委員会は学校の理念を踏まえた上で教育機関としての学校のあり方を客観的に評価し助言を行うことで、適切な教育提供に結びつくようとする。この助言を受け学校はPDCAサイクルに基づき分析・検証を行い学校運営の改善に取り組むことを基本方針とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	理念・目的・育成人材像
(2)学校運営	運営方針・事業計画・運営組織・人事・給与制度・意思決定システム、
(3)教育活動	目標の設定・教育方法・評価等・成績評価・単位認定等、
(4)学修成果	就職率・資格・免許の取得率・卒業生の社会的評価
(5)学生支援	就職等進路・中途退学への対応・学生相談・学生生活、
(6)教育環境	施設・設備等・防災・安全管理
(7)学生の受入れ募集	学生募集活動・入学選考・学納金
(8)財務	財務基盤・予算・収支計画・監査・財務情報の公開
(9)法令等の遵守	関係法令・設置基準等の遵守・個人情報保護・学校評価、
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献・ボランティア活動
(11)国際交流	海外研修

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

専門教育に加えて商業知識やコミュニケーション力を高める教育や、職員に対する研修についてもその充実を図るよう要望があり、早速、カリキュラム変更の検討や職員向け研修について受講内容・対象職員の計画を立てるようにしている。

また教育内容に関しては一定の評価を頂けたが、就職支援においては離職率に関する在学中からの学生への就労教育について更なる充実を求められたので、この意見を今後の教育に反映させていく。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

*委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://www.fbe.ac.jp/concept/jyouhou>

公表時期:

<https://www.firebaseio.com/.json>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の情報提供は基本的にホームページを通じて行っている。これは企業をはじめとする業界諸氏についても同様である。提供する情報については学校の紹介に始まり平素の学校教育について、その取り組みを配信している。これにより企業等との連携が生じ、学校教育や就職の支援などの充実につなげていくことを基本方針とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	開校の目的、建学の理念
(2)各学科等の教育	各学科の入学定員・養成目的、教育システムとカリキュラム体系
(3)教職員	教職員数
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み、実習・実技、企業との連携紹介、就職支援の取り組み
(5)様々な教育活動・教育環境	教育活動、企業プロジェクト、校舎・設備紹介
(6)学生の生活支援	学生寮・1人暮らしサポート、就職サポート
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金情報、学費サポートシステム
(8)学校の財務	決算書、監査報告書
(9)学校評価	自己点検・自己評価、学校関係者評価
(10)国際連携の状況	国際交流
(11)その他	社会との取り組み(産学連携)、災害時非常煮の対応

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://www.fbe.ac.jp/concept/jyouhou>

公表時期: 44712

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程ブライダルコーディネーター科(ブライダルヘアメイク科))										企業等との連携
必修	分類		授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時間数	単位数	授業方法		企業等との連携
	選択必修	自由選択						講義	演習	
1	○		導入教育Ⅰ	目的意識を高め・目標を設定する事ができる。また、自己、他者理解をするため、相互支援関係を築く事が出来るようになる	1前	30	2	○	○	○
2	○		導入教育Ⅱ	目的・目標を明確化し自己成長にむけセルフマネジメントできるようになる	1後	15	1	○	○	○
3	○		導入教育Ⅲ	卒業年次学年として目的意識を高め・目標を設定する事ができようになる	2前	15	1	○	○	○
4	○		導入教育Ⅳ	卒業目的意識を高め将来の目標を設定する事ができようになる	2後	15	1	○	○	○
5	○		就職講座Ⅰ	就職内定に向けての基礎知識を身につける	1前	30	2	○	○	○
6	○		就職講座Ⅱ	就職内定に向け社会人基礎知識とスキルを身につける	1後	30	2	○	○	○
7	○		就職講座Ⅲ	社会人としての自覚を持ち社会人基礎能力を身につける	2前	30	2	○	○	○
8	○		就職講座Ⅳ	社会人としての自覚を持ち即戦力となる対応力を身につける	2後	30	2	○	○	○
9	○		キャリア開発Ⅰ	業務を行う上での能力、知識、経験をの必要性を学ぶ	1前	30	2	○	○	○
10	○		キャリア開発Ⅱ	業務を行う上での能力、知識、経験を継続的に磨くことの必要性を学ぶ	1後	30	2	○	○	○
11	○		キャリア開発Ⅲ	業務を行う上での能力、知識、経験を応用することの必要性を学ぶ	2前	30	2	○	○	○
12	○		キャリア開発Ⅳ	業務を行う上での能力、知識、経験の必要性を理解し将来に活かしことの必要性を学ぶ	2後	30	2	○	○	○

13	○		ブライダル概論Ⅰ	ブライダル企業から直接、現場で必要とされる知識、技術、心構えを学ぶ	1 前	30	2	○	○	○	○	
14	○		ブライダル概論Ⅱ	ブライダル企業から最新の提案や現場で即戦力として活躍できる知識、技術、心構えを学ぶ	1 後	30	2	○	○	○	○	
15	○		ブライダル総合演習Ⅰ	ブライダル業界の職種における基礎的知識を身につける	1 後	60	4	○	○	○	○	
16	○		ブライダル総合演習Ⅱ	ブライダル業界の職種における基礎的能力・知識・技術を身につける	2 前	60	4	○	○	○	○	
17	○		ブライダルヘア&メイクⅠ	ブライダル業界の職種における総合理解必要性を身につける	1 後	60	4	○	○	○	○	
18	○		ブライダルヘア&メイクⅡ	ブライダルヘア&ブライダルメイクの基礎を理解し、応用力を身につける	2 前	60	4	○	○	○	○	
19	○		ブライダルヘア&メイクⅢ	ブライダルヘア&ブライダルメイク基礎技術を活かしを応用力を身につける	2 後	60	4	○	○	○	○	
20	○		ブライダル総合演習Ⅲ	ブライダルヘア&ブライダルメイク技術を活かしデザイン知識を身につける	2 後	60	4	○	○	○	○	
21	○		ドレスコーディネート基礎・トレンド・分析	結婚式スタイルを理解し最新のブライダルヘアメイク・トータルドレスコーディネートを学ぶ	1 後	30	2	○	○	○	○	
22	○		ブライダルコーディネート	結婚式スタイルを理解し各専門分野にてトータルコーディネート演出を学ぶ	2 前	60	4	○	○	○	○	
23	○		スキルアップ講座	コミュニケーション力を身につけ、業界で必要とされるマインドを習得する	2 前	30	2	○	○	○	○	
24	○		模擬オンラインウェディング	新しい形の結婚式に於けるプランニングを理解し、提案できるようになる	2 後	60	4	○	○	○	○	
25	○		リアルプロジェクト	結婚式に於けるプランニングを理解し、提案できるようになる	2 後	60	4	○	○	○	○	
26	○		ブライダルメイク	ブライダルメイクの基礎応用し個性や感性を活かしたメイクの提案と技術を身につける	1 前	60	4	○	○	○	○	
27	○		ブライダルヘア	ブライダルヘアの基礎応用し個性や感性を活かしたヘアスタリングの提案と技術を身につける	1 前	60	4	○	○	○	○	

28	○	着付け	資格習得を目指し、着物文化を理解する	1 前	60	4		○	○	○	○	○
29	○	ブライダル基礎サービス研修	結婚式における基礎知識を学ぶ	1 前	15	1		○	○	○	○	○
30	○	現場力アシスタント PG I	ブライダルヘアメイク現場で必要な知識、スキルを身につける	1 後	30	2		○	○	○	○	○
31	○	現場力アシスタント PG II	コミュニケーション力を身につけ、業界で必要とされるマインドを習得する	2 前	15	1		○	○	○	○	○
32	○	パンツプロデュース I	学内行事を通じて企画から実行までの計画ができるようになる	1 前	15	1		○	○	○	○	○
33	○	パンツプロデュース II	学内行事を通じて企画から実行まで実践的にできるようになる	1 後	60	4		○	○	○	○	○
34	○	パンツプロデュース III	業界で即戦力として活躍できるスキルを身につけ、自らが主体的に動けるようになる	2 前	30	2		○	○	○	○	○
35	○	トップブライダルセミ I	ブライダル企業から直接、現場で必要とされる知識、技術、心構えを学ぶ	1 後	30	2		○	○	○	○	○
36	○	トップブライダルセミ II	ブライダル企業から最新の提案や現場で即戦力として活躍できる知識、技術、心構えを学ぶ	2 前	30	2		○	○	○	○	○
37	○	ウェディングプロジェクト I	最新のブライダルトレンドを東京で学ぶ	2 前	60	4		○	○	○	○	○
38	○	ウェディングプロジェクト II	最新のウェディングを発信できる知識と技術を身につける	2 後	#	8		○	○	○	○	○
39	○	サービス実務研修	結婚式における実務とスキルを実践で身につける	1 前	45	3		○	○	○	○	○
40	○	東京研修	最新のブライダルトレンドを東京で学ぶ	1 前	30	2		○	○	○	○	○
41	○	リゾート研修	リゾートに於けるブライダルの基礎知識を身につけ業界に必要とされる提案力を身につける	1 後	60	4		○	○	○	○	○
42	○	国際教育 / 国内研修	海外の美容文化やブライダルトレンド、自國について学び、自身の視野を広げ、感性を身につける	1 後	15	1		○	○	○	○	○